

# 草津市教育委員会会議録

平成25年7月定例会

(7月30日開催)

草津市教育委員会

出席委員	委員長	小西 明
	委員	馬場 輝代
	委員	村山 美智子
	委員	麻植 美弥子
	教育長	三木 逸郎

議事参与	教育部長	加藤 幹彦
	教育部副部長（総括）	小寺 繁隆
	教育施設整備室長	吉川 寛
	教育部副部長（学校給食担当）	梅原 正雄
	教育部副部長（街道交流担当）	八杉 淳
	教育部副部長（学校教育担当）	清水 康行
	教育総務課長	山本 美佐子
	生涯学習課長	堀田 智恵子
	スポーツ保健課長	高岡 良秀
	文化財保護課長	谷口 智樹
	図書館長	今井 知春
	学校教育課長	糠塚 一彦

事務局	教育総務課副参事	松浦 正樹
-----	----------	-------

開会 午後 2時30分

小西委員長 それでは、ただいまから草津市教育委員会7月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

小西委員長 日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思っております。御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

小西委員長 異議がないようですので、7月定例会は、本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

小西委員長 次に、日程第2、「6月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思っております。御異議はございませんか。

各委員 — 異議なし —

小西委員長 6月定例会会議録は承認されましたので、麻植委員と馬場委員に後ほど署名をお願いいたします。

—————日程第3—————

小西委員長 次に、日程第3、「7月定例会会議録署名委員の指名について」であります。教育委員会会議規則第20条第2項の規定により、私から指名いたします。馬場委員と村山委員にお願いします。

—————日程第4—————

小西委員長

次に、日程第4、「教育長報告」をお願いします。

教育長

皆様、こんにちは。

テレビや新聞などで大きく報道されましたが、「1円切手」の肖像で知られ、近代郵便の父と称される前島密直筆の書状20点が発見されました。これらは草津宿関係文書の調査を進める中で、江戸時代中期以降、草津宿において宿役人を勤め、明治になると関西の郵便制度確立や草津の郵便局開設に尽力した山内家の文書群から発見されたもので、平成24年6月に山内家から草津教育委員会に寄贈されたものの中にありました。資料では前島が今日の郵便制度の礎となる近代郵便制度の創設と関わって草津出身の山内頼富を重用したことなどをうかがい知ることができます。これらの資料は草津宿街道交流館で7月23日から9月1日まで公開していますので、是非御覧いただきたいと思います。

次に、7月19日に一学期終業式を無事に終えた子どもたちは楽しい夏休みに入りました。夏休みはさまざまな出会いとともに新たな発見があり、子どもたちは一段とたくましくなります。反面、生活リズムが変わることや交友関係が広がるなどで、悩みや問題を抱えることがあります。それらの課題とも関わり、毎週月曜日の朝一番、学校教育課が主管する「草津市児童生徒問題行動対策委員会」が開催されています。対策委員会には各中学校の生徒指導主事、滋賀県中央子ども家庭相談センター、草津市子ども家庭課、草津市立少年センター、草津市立教育研究所、教育委員会生涯学習課の担当者が出席し、問題行動の防止に向けた具体的な手立てとともに情報の共有や研修会など、子どもたちの健全育成に取り組んでいます。

次に、これまで草津市教育委員会は、子どもたちや教職員、保護者や地域の皆さんが頑張っておられる教育活動を積極的に発信してきましたが、中には「草津の教育」の動きがあまり見えないとの声をお聞きすることがありました。7月15日に創刊した草津市教育委員会だより「コンパス」は、県内で初めて市内全戸に配布する教育委員会広報紙です。創刊号1面には、プールで歓声をあげる子どもたちの写真を背景に「子どもが輝く教育のまち 出会いと学びのまち くさつをめざして」と題した小西明委員長の創刊にあたっての挨拶。2面は、渋川小学校のタブレット授業と草津市立教育研究所のコラム「がんばっている先生」。3面は、40年ぶりに建て替えた草津市学校給食センターの紹介と草津小学校の給食風景が掲載されています。4面は「歴史からみた草津」を草津宿街道交流館が、下段には市役所6階にある教育委員会事務局の全景写真とともに各課の業務概要を紹介しています。年4回発行する「コンパス」で、元気に頑張っている「草津の教育」を市民の皆様にお届けしたいと思います。

次に、この間、草津市が打ち出した子どもの学ぶ意欲や学力向上の施策と関わった検定事業の到達点を御紹介します。別添の資料を御覧ください。草津市教育委員会が漢字検定協会より特別賞を受賞したことは4月に報告しましたが、漢検を3年間継続して実施したことで、ほとんどの「級」で小学生の合格率が全国平均を上回りました。また準2級の全国合格率は35.5%ですが、草津市の合格率は80%と大きく伸びています。また中学校でも草津市の目標である4級を取得している生徒の割合が着実に増えてきました。

英語検定については、草津市は中学卒業までに4級以上を取得することを目標に掲げていますが、昨年度、秋の時点で英検4級（中2相当）以上を取得した生徒が7割を超えました。文部科学省の「英語教育状況調査」では、草津市の中学3年生は英検3級（中学校卒業程度の英語力）を取得した生徒が4割を超えました。また英検協会への問い合わせでは、草津市は滋賀県の平均より30ポイント、文科省が目標とした数値ならびに全国平均を10ポイントほど上回りました。これらの伸びに注目した英語検定協会が発行する「英語情報」という情報誌に、「英検の全員受験が、生徒の意欲と自信を生み出す」という見出しで、草津市立高穂中学校の英語教育を紹介し、併せて草津市教育委員会の教育施策についても紹介しています。英検協会は、この「英語情報」8・9月号の抜き刷りを市内中学校の全保護者に無料で配布する予定であります。

次に、今年度で5回目となる「スペシャル授業 in 草津」の講師陣が確定しました。子どもたちの理科離れが言われて久しいですが、今年度は理数教育、ものづくり、環境問題の3つをテーマにしました。9月から来年2月にかけて小学校で授業をしていただくスペシャルな講師を御紹介します。シンガーソングライターの加藤登紀子さん、前経産省課長で、東北大学理事（産学連携担当）の進藤秀夫さん、文科省課長補佐の千々岩了英さん、滋賀県立大学学長の大田啓一さん、京都大学IPS細胞研究所研究員の堀田秋津さん、滋賀医科大学教授の松浦博さん、立命館大学理工学部教授の川村貞夫さん、パズル研究者の東田大志さん、プラネタリウムクリエイターの大平貴之さん、京都水族館館長の榊原茂さん、豊岡市コウノトリ共生課の宮垣均さん、子どもの理科離れをなくす会の北原正さん、昨年もお世話になった宇宙航空研究開発機構（JAXA）の皆さん方です。草津の子どもたちが、理科の勉強を大好きになること、また、ものづくりの大切さを学ぶこと、そして私たちが住んでいる地球の環境を守ることなど、未来を生きる子どもたちが心も身体も豊かに成長することを目指し取り組みたいと思います。

最後に、委員の皆様にはひと月ほど前になりますが、7月の初めに学校を訪問していただきました。そのときの様子や夏休みの過ごし方など、また創刊しました「コンパス」についての思いなど、お気づきの点がございましたら、お

聞きしたいと思います。以上で、教育長報告を終わります。

小西委員長

はい、ありがとうございました。

それでは、付議事項に入る前に教育長もただいまの報告で触れられましたが、私たち教育委員は7月1日と3日の2日間にわたりまして、4つの小学校と2つの中学校を訪問いたしました。また、7月15日付で教育委員会だより「コンパス」を発刊いたしました。これらのことについて各委員の御感想、御意見、思いをお聞かせいただけたらと思います。どうぞ、どなたからでも。

村山委員。

村山委員

今御説明ありましたように7月の初めに2日間にわたり市内の小学校のうち4校と中学校のうち2校を訪問してまいりました。1日に3校ずつという少し慌ただしいスケジュールではありましたが、それでも各校でたくさんの授業を見せていただき、また校長先生はじめ先生方には貴重なお時間を割いていただき、いろいろお話をすることができ、大変感謝しております。また、今回は複数の学校をある程度まとまって訪問することで、児童数の多いところと少ないところ、また駅周辺の学校と逆に田園風景に囲まれた学校、また周辺に企業や大学の多い学校など、それぞれの特色の違いがより際立って感じることで、大変勉強になりました。皆さん、それぞれの特色を生かして、さまざまな工夫をしておられることがよくわかりました。このような先生方の努力や工夫、活動が少しでもやりやすくなるように、教育委員会のほうでも後押しできるように、今回の訪問で得たことをこれからの活動に生かしてまいりたいと思います。また、これらの学校活動やすばらしい授業の内容など今月より創刊した教育委員会だより「コンパス」でも少しずつでも御紹介していけたらよいと思います。

以上です。

小西委員長

ほかにございませんか。

麻植委員、どうぞ。

麻植委員

私も先日の訪問のことについてお話させていただこうと思います。公式の学校訪問で小中学校6校を見させていただきました。個人的には新米教育委員として自分自身の研さんの意味で、昨年から今年にかけて市内の小中学校を訪問させてもらいまして、普段着の学校の様子が見えて、それはそれで大変有意義でした。今回は教育委員会、教育委員全員の公式訪問ということで2日間にかけて6校を回ったわけですが、各学校それぞれが特色を出して、例えば学校の

規模を生かした展開、地域の特徴を生かした教育活動、全ての学校がテーマを共有するといった工夫をされている等々、本当に創意工夫を凝らされたマネジメント、リーダーシップにお世辞抜きで感銘を受けました。また、先生方も自分たちに取り組みを知ってもらおうとの熱い思いがびんびんと伝わってまいりました。このような熱意は現在御案内いただき、私自身も5回ほど参加しております教育研究所主催の教職員夏期研修講座においても同様に感じられ、大変力強く思っています。ただその反面、授業の進め方で悩んだり、必ずしも質の高い授業を実施しているとは言えない先生方も存在するということが耳にしました。簡単に解決できるものではないことは十分承知しておりますが、今後さらに研究を重ねて、全体の底上げを図っていただきたいと思っております。また、各学校でマネジメントやリーダーシップを発揮していくためには校長先生の任期を考慮することも大切なことなのだなと感じました。

また、一昨日ありました教育研究所主催の、教育研究講演会「津波刻む未来への文集“いのち”から」ですが、私も拝聴させていただきました。私も音楽活動をしている中でいろいろな支援をさせてもらっています。また慰問にも寄せてもらいますが、先生方の生の声、風化してはならないという強い思いを聞かせていただけて、それを今後の自分たちの教育の中にも生かしていかなければならないと感じました。それは防災という意味もありますし、先生の指導力というものもありますし、さまざまなものを感じさせていただきました。また、この講演会は市民公開されており、午後からの研究発表に関してもどうぞお聞きくださいという姿勢を示しておられたことについては、とても素晴らしいことだと感じた次第です。

以上です。ありがとうございました。

小西委員長

馬場委員、どうぞ。

馬場委員

私も各学校を回らせていただいたのですが、各学校、4月の初めには今年度これで頑張ろうということを既に示していただいていたので、7月に寄せていただいたのは、その進捗状況を見せていただくということもあって、各教室を訪問もさせていただき、また管理職の先生方からもいろいろな話を聞くことができました。既にお話もありましたが、先生方が明るい、子どもたちが明るいということが、大変良いことだと私は思いました。やはりこの力がいろんな形で、いろんな困難があっても、はねのけていける力を育てているのだなと思ったので、頑張れ先生、頑張れ子どもたちと心の中でエールを送って帰ってきました。

それから、もう1点は今、麻植委員からも出ましたけれども、教育講演会で

被災された学校の校長先生から話を聞かせていただいて、淡々とした語り口でしたが、最後に、母を亡くした子どもの作文であるとか、それからそのとき中学生だった子どもが高校生になって、ネットのほうに動画を流していたものを見せてもらって、本当に涙があふれてきました。子どもは育っているのだ、教育って素晴らしいなと思いました。このような機会が市民全体に与えられているということは大変良いことだと思いましたし、後からたくさんの先生方とお話しをした中でも、「絶対教職員全部が聞かんとあかんかった話やな」という意見をお聞きして、またそういうチャンスがあれば、違う形で実現できればいいなと思いました。

以上です。

小西委員長

はい、ありがとうございました。

それでは、教育長報告につきましては以上で終わらせていただきます。

#### —————日程第5—————

小西委員長

次に日程第5、付議事項、「議第34号 草津市教育委員会の事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則案」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

教育総務課長

議第34号、草津市教育委員会の事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則案につきまして、教育総務課の山本が御説明申しあげます。

議案書の3ページ、4ページをお開きください。

草津市教育委員会の事務局の組織に関する規則につきましては、事務局の内部組織について定めたものでございますが、今回第3条の事務分掌の中の学校教育課の分につきまして改正が必要となったものでございます。

それでは、4ページの新旧対照表を御覧ください。

まず、旧規則の(11)同和教育研究大会に関することでございますが、昨年度、同和教育研究大会を人権・同和教育研究大会に名称の変更を行ったところございまして、当該規則に反映できておりませんでしたので、今回、人権・同和教育研究大会に関することと改めるものでございます。

また、(26)幼稚園整備審議会に関することにつきましては、子ども子育て支援法の改正により子ども子育て会議が設置され、これまで同様の事務を担っておりました幼稚園整備審議会が廃止されましたことから、この項目を削除しようとするものでございます。



以上、御審議のほどよろしくお願ひ申しあげます。

小西委員長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

意見もないようですので、議第34号については、原案どおり可決いたします。

次に、「議第35号 草津市教育委員会事務外部評価委員会委員の委嘱につき議決を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

教育総務課長

議第35号、草津市教育委員会事務外部評価委員会委員の委嘱につき議決を求めることについて、教育総務課の山本が御説明申しあげます。

議案書の8ページをお開きください。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきまして、毎年行っております教育委員会事務の点検及び評価につきましては、この点検評価の客観性を高めるため平成21年度より外部評価委員より評価をいただいております。今年度も同様に進めてまいりたいと考えておりました。草津市附属機関設置条例および草津市教育委員会附属機関運営規則に基づきまして、公募市民を含む3名の外部評価委員の委嘱を行おうとするものです。委員につきましては8ページの表の中に書いてありますとおり学識経験を有する者としましては滋賀大学教育学部長の兒玉典子さん、学校教育の関係者としましては元公立中学校長の久保明雄さん、公募市民につきましては長谷川奈緒さんの以上3名の方でございます。なお、任期につきましては平成25年8月1日から平成26年3月31日までとなっております。

以上、御審議のほどよろしくお願ひ申しあげます。

小西委員長

はい。ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

意見もないようですので、議第35号は、原案どおり可決いたします。

次に、「議第36号 草津市立少年センター運営委員会委員の委嘱につき議決を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

はい、どうぞ。

生涯学習課長

生涯学習課の堀田が御説明申しあげます。11ページと12ページを御覧ください。

議第36号、草津市立少年センター運営委員会委員の委嘱につき議決を求めることについてでございます。草津市立少年センター運営委員会委員につきましては、草津市立少年センター条例施行規則第7条の規定により委員を委嘱しております。このたび選出いただいております団体におきましては役員の交代をされたことと、本年5月の定例教育委員会で御承認いただきました公募委員を選出いたしましたことから委員の委嘱をしようとするものでございます。なお、任期につきましては平成25年9月1日から27年8月31日までの2年間でございます。

以上、簡単ではございますが、御説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

小西委員長

はい。ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

それでは、意見もないようですので、議第36号は、原案どおり可決いたします。

次に、「議第37号 草津市図書館協議会委員の委嘱につき議決を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

はい、どうぞ。

図書館長

議第37号、草津市図書館協議会委員の委嘱につき議決を求めることについて、図書館の今井が御説明申しあげます。

議案書14ページ、15ページを御覧いただきたいと思います。

図書館協議会委員につきましては、草津市図書館設置条例によりまして現在10名の方をお願いしているところでございますが、このたび家庭教育関係者であります田中和美様より辞任の申し出がございましたので、解任し、新たに家庭教育関係委員として末谷朋美様を図書館協議会委員に委嘱しようとするものでございます。なお、任期につきましては草津市図書館設置条例の規定に基づき現任者の残任期間であります8月31日までの期間とするものでございます。

以上、まことに簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

小西委員長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

意見もないようですので、議第37号は、原案どおり可決いたします。

次に、「議第38号 草津市立教育研究所運営委員会委員の委嘱につき議決を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

はい、どうぞ。

学校教育課長

次に、議第38号、草津市立教育研究所運営委員会委員の委嘱につき議決を求めることについて、学校教育課、糠塚が御説明を申し上げます。

議案書の17ページから19ページを参考に御覧ください。

運営委員会委員につきましては、草津市立教育研究所規則第7条の規定により、委員を委嘱または任命しているところであります。このたび全委員の任期が3月31日に満了したため委員の委嘱及び任命を行うものであります。委嘱任命期間については規則第7条第2項の規定により通常は1年間ですが、草津市市民参加条例の施行に伴い公募による市民の募集等手続がありましたので、平成25年8月1日から平成26年5月31日までとなります。委嘱する委員につきましては18ページに一覧表がありますので、御覧ください。

以上、簡単ですが、説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

小西委員長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

意見もないようですので、議第38号は、原案どおり可決いたします。

————— 日程第6 —————

小西委員長

次に、日程第6、協議事項(1)「教育委員会事務の点検及び評価の報告書

(平成24年度)について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

はい、どうぞ。

教育総務課長

協議事項(1)教育委員会事務の点検及び評価の報告書(平成24年度)について、教育総務課、山本が御説明申しあげます。

協議書の2ページ、3ページを御覧ください。

本年5月より各担当課にて平成24年度の点検評価作業を進めてまいりましたが、このほど内部評価がまとまりましたので、御報告いたします。

まず、点検評価制度の趣旨でございますが、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から全ての教育委員会は点検評価を行い、その結果、報告書を公表することと義務づけられたところでございます。本市では平成22年3月に草津市教育振興基本計画を策定しており、当計画の進捗状況の確認をかねまして、教育振興基本計画の施策体系に沿って点検評価を実施いたします。また、点検評価の対象でございますが、草津市教育振興基本計画の9つの目標と41施策でございますうち、市長部局が実施する2施策を除いた39施策を対象といたしております。

次に、点検評価の方法および評価指標でございますが、39施策を26の具体目標ごとに1年間の主な取り組みの成果を明らかにするとともに、今後の課題について自己評価を行い、26の具体目標の評価から9つの目標を評価しました。評価指標の中の目標評価については2ページの下の表のとおりでございます。具体目標評価の平均点からA B C Dの4段階に評価いたしました。

また、3ページでございますが、具体目標評価につきましては表にございますとおり具体施策に対応する事業の実績値の推移等、達成度から総括的にa b c dで評価し、点数化を行いまして、その平均点から具体施策、具体目標を評価いたしました。それぞれの評価シートは10ページから61ページのとおりでございます。

具体的に評価シートにおいて説明いたしますので、10ページ、11ページをお開きください。このように具体目標ごとに評価シートをそれぞれ作成しております。11ページの上には取り組んだ事業を4つ挙げております。それぞれの項目の実績値の推移を矢印で示しております。右の評価は10ページの主な取り組みの成果とあわせまして総合的に判断しまして、a b c dで評価を行っております。aの場合は3点、bの場合は2点、cの場合は1点、dの場合は0点と点数化しまして、それぞれの平均点がまた10ページの具体施策の評価点数になります。また、この平均点が具体目標の点数評価となります。このように取り組んだ事業をわかりやすく点数化することとあわせまして、取り組

みの成果と課題の整理を行うことによりまして報告書をまとめたところです。

また、全ての評価結果につきましては62ページに一覧表にまとめております。また、教育委員会の活動状況等総括を64ページに掲載しておりますのと、教育委員会で審議いただいた案件につきましては65ページから67ページに掲載しております。

申し訳ございませんが、3ページにもう一度お戻りいただきたいと思います。中ほどに、「4 外部評価委員会」と書いております。点検評価の客観性を確保するため教育に関する学識経験を有する方など外部の方々の意見、助言をいただき、最終的に報告書をまとめたと考えております。外部評価委員につきましては先ほど御紹介いただきました3名の方ということで、委員会は3回開催する予定でございます。本日、教育委員さんからいただきます意見を反映しまして、8月5日、7日に外部評価委員会を行いまして、お諮りしたいと思います。また、3回目の委員会では教育委員さんとの懇談も行いたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

小西委員長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。この報告書の文案につきましては早い段階で私を含めて原稿を届けていただいて、この19日までに各委員の意見を求められました。各委員、事務局にそれぞれの意見を出され、意見交換をして、それぞれの結論を経て、この内容になったものと承知をしておりますが、ほかに何か意見がありましたら、どうぞ。

麻植委員

少しお話しさせていただきたいと思う点がございます。

58ページですが、文化芸術振興の点です。草津市には振興の意味で市美展、あと市民文化祭、くさつアート・フェスタ、青少年俳句大会、ふるさと草津俳句会、文化芸術機能検討委員会と事業名が並んでおりますが、その中で市民文化祭のことで事務局のほうにいろいろとお願いをしました。その音楽祭、そして合唱祭というのは市民の公募の部分がありますが、文化祭はその部分が登録団体ということになっています。発表の場ということですし、今後の課題の中で一般公募枠の導入ということを入れていただき、中長期的に検討していただけるということでとても感謝しています。ありがとうございます。

小西委員長

ほかにございませんか。

はい、どうぞ。

三木教育長

教育長ということで、事務局も関わっておりますので、どのような言い方を

すれば良いかと思う部分もありますが、実際のところ回数などは若干減ったりしているところがあります。その場合に推移で言えば、矢印が下に下がるわけです。回数がどうなのかという問題はもちろんこれはこれで追及していかねければならないですけれども、内容がどうなのかということをこの中でどれだけ表せるのかということが求められていると思います。48ページのプレスへの資料提供というところでは、いろいろな行事等について頑張っていたいて、資料提供をしているわけです。「コンパス」という形で今年度も新たに情報発信することになりましたが、ここで言えば207回が199回と8回ほど減っているのです。情報発信についての一つの問題は、それがどれだけ取りあげられたか、どんどん情報発信しても、それが実質的に掲載をされたのか、取りあげられたのかということが非常に大事なことです。そういった部分をしっかり評価し、質的な部分を深めていく必要があると思います。他市の評価書と比較しても、草津は頑張っているという声をお聞きしますが、今後は内容をさらに深めていくということが求められてくると理解しております。

以上です。

小西委員長

ありがとうございます。今、教育長も話されましたので、皆さんのお許しをいただいて私も一言申しあげたいと思いますが、よろしいですか。この点検評価報告書でこのような形になりましたのは、今も教育長が言われたように今の形と全く同じになっているのは3年前から。ほぼ同じ形になったのが4年前から。私も教育委員に就任して以来、これに非常にこだわりまして、いろいろな意見を申しあげてまいりました。インターネットで全国の評価報告書が公開されておりますので、去年までものを全部読んできました。しかしながら、これほど詳細で、評価対象となる項目を明確に挙げているものはほかになく、何よりも見る人がよくわかる、整ったものになっておるとしております。日本で一番いいと、誇れる価値があるものだとは私は思っております。ここに掲げられました課題、これをどのように克服するか、克服に努めることでその評価報告書の価値が本物になり、ますます値打ちが上がっていくというように考えております。草津市が目指す県下一、日本一の教育のまちに近づくように、ぜひとも課題を克服して、関係者、それから市民、オール草津一丸となって前進したいと思っております。

よろしいですか。

各委員

— 特になし —

小西委員長

それでは、ほかに意見もないようですので本協議事項は以上で終わらせてい

たきます。

———日程第7———

小西委員長

それでは、日程第7、報告事項に入ります。事務局より順次報告願います。

教育部副部長(学校給食担当)

給食センターの梅原が目次の1ページの(1)番から(3)番、給食センターの運営懇談会開催要綱と給食センター物資選定懇談会開催要綱。給食センターの献立作成懇談会開催要綱、この3つについて御説明申しあげます。

資料2ページから3ページ、4ページに要綱が載っております。これにつきましては前定例委員会において、給食センター設置条例に規定されている給食センター運営委員会に関する規定を削除しましたし、給食センター管理規程において定められておりました献立作成委員会と物資選定委員会に関する規定を削除しましたので、これら3つを懇談会として要綱によって決めましたので、御報告申しあげるものです。

以上です。

小西委員長

次をお願いします。

教育部副部長(街道交流担当)

続きまして、資料の5ページ、6ページでございます。

報告事項(4)草津宿街道交流館について説明させていただきます。

先ほどの教育長の御報告にもございましたが、日本近代郵便の父と称されます前島密の書簡がこのほど発見されましたので、去る7月19日に記者発表をさせていただきました。内容につきましては資料にございますが、1円切手の肖像でもおなじみの前島密が草津宿で江戸時代に宿役人を務め、幕末から維新期にかけて郵便創業にも関わってまいりました山内頼富という人物に対して送った書簡が、このほど20点発見されました。明治3年から13年まで、明治初期のものでございまして、前島密が実務的に最も活躍した時期でもあるということで、郵便史を研究いたしております逓信総合博物館からも貴重な資料であると高い評価をいただいております。これらの資料につきましては7月23日から9月1日まで前後期2回に分けて、草津宿街道交流館のほうで展示をいたしておりますので、御報告を申しあげますとともに、お時間がございましたら、是非御覧いただけたらと思います。

以上でございます。

小西委員長

次、お願いします。

学校教育課長

報告事項（５）平成２５年度「各界トップのスペシャル授業 in 草津」について、学校教育課の糠塚が説明を申しあげます。

資料の７ページから９ページ、またテキスト時の資料も御覧ください。

この事業につきましては今年度で５年目を迎えることとなります。これまで県内大学の学長や企業の経営者、芸術家、スポーツ選手など幅広い分野から講師を招聘して特別授業を行い、子どもたちの学習に大きな成果をあげてきました。今年度は特に理数、環境、ものづくりの３分野にテーマを絞りました。一覧表のとおり１３名の講師の先生と授業実地校が決定をいたしました。特別授業につきましては９月から来年２月にかけて実施する予定をしております。

以上、報告させていただきます。

小西委員長

次、お願いします。

教育総務課長

最後に、報告事項（６）寄付受入れ報告につきまして、教育総務課の山本が御説明申しあげます。

このたび玉川小学校教育振興会様から玉川小学校に対しましてかぶとの森建屋一式を御寄付いただいたこととございます。こちらの建屋につきましては滋賀県立大学被災地ボランティアチームの学生により建てられたものということとございます。

以上で御報告、終わさせていただきます。

小西委員長

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして御質問等はございませんか。

どうぞ。

麻植委員

報告事項（５）です。実は今日の午前中、教育研究所の教職員夏期研究講座を受けてまいりました。その中で国立教育政策研究所、総括研究官の藤平さんのお話を伺ってまいりました。その中で二つ心に残っているものがありました。意図的、そして計画的にということです。このスペシャル授業、今もおっしゃっておられましたが、今年度、理数、環境、ものづくりとテーマを決められて、これだけのすばらしいスペシャルな方々に来ていただける。これはやはり教育現場と事務局の方々の熱い思いがあったからこそ、この講師陣が来ていただけるのだと思います。この事業については、今後もさらにバージョンアップしてやっていただけたらと思っております。よろしく願いいたします。

小西委員長

ほかにごございませんか。



各委員

— 特になし —

小西委員長

ないようですので、これをもちまして7月定例会を終わらせていただきます。  
次回は8月19日（月）午後2時30分から定例会を開催する予定ですので、  
よろしく願いいたします。  
ありがとうございました。

閉会 午後 3時16分